

# 東高通信

令和3年度 11月号

## 今月の内容

- ・11月行事予定
- ・学年より
- ・活躍する東高生  
withコロナの時代です。ワクチン摂取率が上がったからといって油断してはいけません。対策をしっかり続けましょう！

日	曜	学校行事等	学年・進路・生徒指導	生徒会・部活動関係
1	月	校内授業公開週間 授業・部活動公開(午後)		
2	火			
3	水	文化の日		
4	木	後期生徒会役員選挙【45分授業】		
5	金	避難訓練【45分授業】		
6	土			
7	日			テニス県北秋季ジュニア選手権U16
8	月		2学年修学旅行結団式	
9	火	修学旅行①		
10	水	修学旅行②		
11	木	修学旅行③		
12	金	修学旅行④		サッカー新人地区大会(~15日)
13	土			バスケU18地区リーグ(~14日)
14	日			
15	月	生徒会役員認証式		
16	火			
17	水	【45分授業】		
18	木			
19	金			卓球県新人戦(~22日、須賀川) ハンド新人県大会(~21日、本宮)
20	土	土曜学習会		バドミントン新人地区大会(~22日)、バスケU18地区リーグ(~21日、本校会場21日のみ)
21	日			
22	月	期末考査①		
23	火	勤労感謝の日		
24	水	期末考査②、進路対策委員会②、後期学校保健委員会、部活動振興委員会②		
25	木	期末考査③		
26	金	期末考査④	全統プレ(3年、~27日)	
27	土		テニス県北秋季ジュニア選手権(~28日)	
28	日		サッカー新人戦県大会(~29日、いわき)	
29	月			
30	火			

## 各学年より

### 3学年より

3年3組担任 阿部 祐太郎

共通テストまで残り約80日となりました。受験勉強も本格的になり、演習形式の授業や課外に集中して取り組む人や、放課後教室に残って学習する人も日に日に増えている気がします。本番に向けて以下の点に気を付けて一日一日を大切に送りましょう。

#### 【学習面について】

- ① 模試などで、あいまいだった問題を確認しておこう。(「解答解説」に線を引いておこう)
- ② 時間配分の感覚を身につけておこう。(時間内に解き終える練習をしよう)
- ③ 地歴公民、理科の受験する順番をあらかじめ決めておこう。(「第一解答科目」と「高得点科目」のどちらを合否判定に利用するかは大学によって異なることがあるので要注意。大学の募集要項を確認しよう)
- ④ 1科目につき、あと2問ずつは確実に解けるように勉強しよう。(1問は2~4点ある)

#### 【生活面について】

最近体調を崩す人が多いようです。受験勉強によるストレスもあると思いますが、少しずつ本番を想定して生活のリズムを整えるようにしましょう。

- ① 共通テスト開始は9:30から。夜型から朝型へ生活習慣を切り替えよう。
- ② 普段と違う食べ物・飲み物には注意。いつも通りの食事をしよう。
- ③ 受験勉強中に迎える年末・年始。生活リズムを崩さないように気をつけよう。
- ④ 本番までは、携帯電話・メール・漫画を控えよう。本番に向けて集中力を高めていこう。

#### 【今後の予定】

- 10月29日(金)、30日(土) ベネッセ駿台共通テスト模試(マーク)
- 11月22日(月)~26日(金) 第2学期期末考査
- 11月26日(金)、27日(土) 全統プレ(マーク)
- ※ICプレーヤーを使用してリスニングを行います。

**判定の出る最後の模試になります。ベストを尽くそう！**

#### 【最後に】

未だに受験カード・解答用紙のマークミスや記入忘れ、自己採点のミスが目立ちます。共通テストの自己採点で大きな誤差があれば、出願ミスにつながる可能性もあります。「正確な自己採点」のために、以下のポイントをしっかりと守って、とにかく慎重に解答、自己採点しましょう。

#### 正確な自己採点をするために ~共通テスト本番での解答の掟~

- ・試験開始前に、見直しの時間も計算に入れて時間配分をすること
- ・受験番号や名前などの記入に誤りがないかどうか確認すること
- ・マークの「ダブリ」や記入欄の「ズレ」などがなく確認すること
- ・受験中に自分の解答を問題冊子に必ず控えること
- ・マークシート上で訂正した場合、問題冊子の控えにも訂正を反映させること
- ・訂正の際は完全に消しゴムで消すこと
- ・問題冊子の控えとマークシートの解答とが一致しているかを最後に見直すこと



## 秋はイベントの宝石箱や～

2年5組担任 渡邊 大海

11月といえば我々にとって最大級のイベントが行われる月です。様々な事情から、本当に開催できるのかわからず不安にさいなまれながらも楽しみに待っていたあのイベント。そう、私と私の長女の「合同おたんじょうび会」が開催されるのです。普段よりちょっと豪華なメニューの食事と共に、おいしいケーキを食べる。プレゼントをもらい、中身は知っているけど、ワクワクしながらラッピングをビリビリに破る。個人的には年を取るのが嬉しくない年齢になってしまいましたが、やはりこういうイベントはいいものです。ちなみに家族から私への誕生日プレゼントはNintendo Switchのゲームソフト「スーパーロボット大戦30」です。楽しみすぎて最近なかなか眠れません。

あ、そう言えば修学旅行もありますね。高校3年間で最も大きな行事と言える修学旅行が無事に開催できることはとても嬉しく思います。修学旅行は単なる観光旅行ではないので、旅行を通して多くの学びを得る機会にしてください。・・・とは言え思い出作りも大切です。移動時や宿舎での友人とのやり取り、テンションが上がり過ぎたことで起きるハプニング。もしかすると慣れない環境での宿泊や人間関係に不安を抱いている人もいるかもしれませんが、良い事も悪い事も全て後々の人生の糧となり、結果として良い思い出となります。絶対に。本当です。信じてください。お願いします・・・。私が生徒として修学旅行に行ったのはもう25年も前の話ですが、多くの出来事を今でも鮮明に覚えていますし、同級生に会ったときには必ず話のネタとして登場してきます。「集合のとき〇〇やってたら先生に怒られたよなあ」「見学先の〇〇で先生に怒られたよね」「宿舎で〇〇してたら怒られたっけね」「帰って来てから〇〇だったのバテて怒られたな」など枚挙に暇がありません。たった数日の経験が、まさかその後数十年に渡る財産となるなんて当時は思いもよりませんでした。普段から真面目に一生懸命に学校生活を送っている皆さんですが、この最大級のイベントにも全力でぶつかり、経験・思い出という名の宝物の原石を一つでも多く持ち帰って来てほしいと思います。それらは時を経て磨かれ、素晴らしい輝きを皆さんにもたらしてくれるはずですよ。私も引率者の一人としてではありますが、修学旅行に全力でぶつかり、皆さんに負けたくないくらい多くの経験を得たいと思います。さあ！！いざ勝負！！

「旅は真正な知識の偉大な泉である」ベンジャミン・ディズレーリ

### 活躍する東高生

水泳部: 県高校新人体育大会水泳競技 50m自由形第四位 角田拓人(2-3)  
書道部: 福島市民美術展覧会 青少年奨励賞 渡邊美南海(2-2)、平井愛華(1-2)  
福島県書道連盟展(高校生の部) 準大賞 遠藤瑠夏(3-1)、渡邊美南海(2-2)  
奨励賞 石黒智尋(2-6) 特選 志賀大二郎(3-7)  
美術部: 福島市民美術展覧会 青少年奨励賞 今野美咲(3-4)  
写真部: ふくしま森林・林業写真コンクール 県森林・林業・緑化・協会長賞 鈴木友梨(2-1)  
1学年: 全国高校生読書体験記県選考会 最優秀 嶋原莉子(1-5) 優秀 吉川咲樹(1-5)

## 理系の理科

1年5組担任 川崎 かおり

一昨年、河合塾の大学入試説明会に参加したところ、「昔は理系の入試は数学で決まると言われていたが、最近は理科で決まる。」という話を耳にした。確かに、かつてのセンター試験は5教科6科目であり理科は1科目で済んでいた。しかし、ゆとり教育脱却という理由から2015年以降は理科2科目型受験の大学が大幅に増加し、現在では国公立大学理系のほとんどが2科目型の受験である。私の経験から言うと理科2科目を勉強するという事は(3年生は実感していることと思うが・・・)非常に辛いものである。難易度の問題だけではなく、学ぶべき内容が多すぎて時間的に厳しいのだ。そこで私は東高通信の場を借りて私の体験記を話すこととする。

十数年前10月(川崎は高校3年生!)、最近受けたマーク模試の結果が返された。国数英はいつも通りだったが相変わらず理科と社会が最悪である。いつもは気にも留めていなかったが今回は違った。3年生秋まで理科社会を何も勉強していないということに、やっと気づいたのだった。本当に愚か者である。当時の高校の先生からは常に「理科社会は3年生からでも間に合う。」と言われていたので、それを信じすぎたのが過ちの原因であったと思う。(自分が一番悪いのだが・・・)東高生諸君に言っておきたいのだが、理系の理科と文系の地歴Bは、なるべく早めに勉強を始めることをおススメする。

その後、焦っても仕方がないので作戦を立てた。私は化学、生物、地理選択だったが、センター試験までの残り3カ月で3科目を完成させるのは絶対に無理なので、化学1つに絞ることにした。そして、これまで国数英のみだった家庭学習の約7割を化学にかけることにした。勉強法としては、いきなり問題集から始めないで、まずは教科書を一冊熟読し、その後問題演習に取り組むようにした。最初は化学に向き合うのが嫌でたまらなかったが、3か月黙々と勉強し続けたところ、気が付けば問題をとても楽しく解くことができるようになっていた。しかし、「理科を克服したから合格できた！」というほど受験は甘いものではなく、大学の難易度を上げればそれに伴い数学の問題のレベルも難しくなっていくので、結局2月の半ばまで猛勉強の毎日だった。この時期を私は、山籠もりならぬ部屋ごもり時代と呼んでいる。最終的に、私の科目数でも受験できた国立大学に進学した。

理系科目に苦しんでいる人が、東高生の中にもいるだろう。成績を上げるには、理解できないことをあきらめずに考え続けるしかない。あきらめない心は、本当に大事である。

10月末からは各運動部の県大会も目白押しです。昨年、東北大会に駒を進めた陸上部駅伝男女、IH県大会でベスト4に入った剣道部、全国大会福島県代表まであと三勝のサッカー部等々、活躍に期待しましょう。

